学校教育目標　**心豊かな子**　　明るい子　考える子　たくましい子

南の風

所沢市立南小学校
学校だより
令和８年５月
No.２



失敗を糧に

校長　戸村　達男

南小学校ではこの数年、【レジリエンス】の育成に力を入れて取り組んでまいりました。耳になじみのない横文字より、「しなやかに　たくましく　へこたれない心」と言った方が伝わりやすいでしょうか。失敗しても立ち直る力、失敗を糧にして成長しようとする心を身につけてほしい。これは私たち教職員も保護者の皆様も同じ思いだと思います。

失敗を自分の力で乗り越えることができた。そういった経験をしなければ、「しなやかにたくましく　へこたれない心」は育ちません。でも、何でもかんでも挑戦させ、失敗させれば、そういった心が育つかと言えば、そうでもない気がします。子どもたちはまだまだ未熟です。私たち大人が子どもを理解し、失敗を見極め、応援、アシストしてあげる必要があると思います。

まずは、子ども一人一人が、現時点で、失敗に強いのか弱いのか、へこたれない心が育っているのか、理解してあげたいです。「うちの子は失敗に弱いなあ。」そうお感じになったら、前向きな言葉かけ、例えば「ナイスチャレンジ！」「挑戦しようと思ってくれたことがうれしいよ。」を心掛けていただくといいと思います。
失敗に弱く、チャレンジしないお子さんは、失敗することが怖いのではなく、失敗して怒られることが怖いのかもしれません。

失敗の質を見極めてあげることも大切だと思います。
「ナイストライ」と称賛されるべき、チャレンジングな失敗なのか。
子どもらしい、ほほえましい失敗なのか。
当然知っててほしいことを知らなかったゆえの“無知”からきている失敗なのか。
失敗の質によって、支援・指導の仕方、声掛けも変わります。知っておくべきことを知らなかったから失敗したのだとすれば、知っておくべきことを知識として理解させる必要があります。

“転ばぬ先の杖”的なサポートは、いつやめるかを考えておくことも大切だと思います。
例えば赤ちゃんは、哺乳瓶を卒業すると、蓋とストローと取っ手がついたマグカップでお水を飲むようになります。成長につれて、蓋がなくなり、ストローがなくなり、取っ手が片方になり、やがてコップで飲むようになっていきます。子どもが水をこぼさないよう

にと、大きくなっても蓋つきのマグカップを使わせはしないですよね。幼い時は“転ばぬ先の杖”で、子どもが失敗しないように先回りしてアシストすることは大切ですが、もっと大切なのは、それをいつやめるか。例えば、勉強、持ち物の準備をいつまで手伝うか。子どもの友だち関係にいつまで関わるのか。やめ時を間違え、失敗を人の責任にするようにはさせたくないですね。

失敗を次に生かすには“反省・振り返り”が大切です。ここは大人の出番だと思います。ぜひ手伝ってあげましょう。どうすればよかったのか。同じ失敗をしないために次からどうするか。一緒に考え、自己決定させてあげてください。

子どもは失敗しながら成長する。これは事実です。
「失敗していい」。「できてもできなくても、チャレンジしたことがステキ」。その上で、「できたなら、なお素晴らしい」。このくらいのゆとりある気持ちで子どもを見守り、その子に合った支援・応援をして、「しなやかに　たくましく　へこたれない心」を育てていきましょう。

5月の行事予定　　生活目標：じょうぶな体をつくろう

日	月	火	水	木	金	土
					1 1年視力検査	2
3 憲法記念日	4 みどりの日	5 こどもの日	6 振替休日	7 3年視力検査	8 6年こころの劇場 6組視力検査	9
10	11 1年心電図	12 6年県学力調査 1年/3年3,4組 歯科検診	13 5年県学力調査 2年/3年1,2組 歯科検診	14 4年県学力調査 6年プール清掃 委員会	15 1年生を迎える会	16
17	18	19	20	21 4,5,6年6組 歯科検診	22 6組遠足	23
24	25	26 交通安全教室	27 たてわり班遊び	28 クラブ 1,2,3年・6組 内科検診	29 5年林間説明会 尿検査	30

6月6日の引き渡し訓練について

年間計画でお伝えしている通り、今年の引き渡し訓練は、保護者、教職員双方の負担軽減のため、実際に引き渡しを行うのは新1年生のみとし、2～6年生は、メールの通知のみの模擬訓練とさせていただきます。全校一斉の引き渡し訓練は2年に1度、行うこととします。

なお、実際に地震が発生し、所沢市が震度 5 弱以上の揺れを感知した場合は、自動的に所沢市の“ほっとメール”で、児童のお迎え要請が配信されます。ご承知おきください。